

証券外務員一種

合言葉de合格！法 サブノート連動問題集

3 先物取引

success3.jp

【先物取引1】

- | | | | |
|----|---|----|---|
| 01 | 先物取引を開始する時、協会員（証券会社等）は、お客様に対してあらかじめ説明書を交付しなければならない。 | 01 | ○ |
| 02 | 協会員は、先物取引を開始する時には、お客様から先物取引に関する確認書を徴求しなければならない。 | 02 | ○ |
| 03 | （先物取引の買方の場合）現物 95 円、先物・約定価格 100 円で買い。期限日に現物価格が 105 円になったら利益発生である。 | 03 | ○
（あなたは）100 円で買える約束あり。100 円で買ってすぐ市場で 105 円で売れば良い。105 円－100 円＝5 円の儲け。 |
| 04 | （先物取引の買方の場合）現物 95 円、先物・約定価格 100 円で買い。期限日に現物価格が 90 円になったら利益発生である。 | 04 | ×
現物が 90 円で買えるのに、（あなただけは）100 円で買う約束。90 円－100 円＝▲10 円（10 円の損） |
| 05 | （先物取引の売方の場合）現物 95 円、先物・約定価格 100 円で売り。期限日に現物価格が 105 円になったら利益発生である。 | 05 | ×
100 円で売る約束。そのための商品をあなたが市場で調達するとしたら 105 円で調達してくる必要あり。100 円－105 円＝▲5 円 |
| 06 | （先物取引の売方の場合）現物 95 円、先物・約定価格 100 円で売り。期限日に現物価格が 90 円になったら利益発生である。 | 06 | ○
（市場は）90 円で売ったり・買ったりしている時、あなただけは 100 円で売ることができる。100 円－90 円＝10 円。 |
| 07 | 買いと売りは、利益発生・損失発生が逆の関係になる。
（買いが儲かる場合は、売りは損になる） | 07 | ○ |
| 08 | 売ったり、買ったりの計算は、常に「売り－買い」である。
（※ 時間の経過は関係なし。売りが先でも「売り－買い」 | 08 | ○ |
| 09 | 先物取引は相対取引であるが、先渡取引は取引所において、商品が標準化・定型化されている。 | 09 | ×
（逆である）先渡取引・・・相対取引。
先物取引・・・取引所において標準化・定型化されている。 |
| 10 | 先物取引において、取引所にて標準化された架空の債券を「標準物」という。 | 10 | ○ |
| 11 | 先物取引の3つの特徴として、①自由な反対売買、②標準化された取引所取引、③証拠金制度がある。 | 11 | ○ |
| 12 | 顧客は、先物取引において損失が発生した場合でも決済が履行されるように取引成立の日の3営業日までに証拠金を差し入れる。 | 12 | ×
取引成立の日（取引を行った日）の翌営業日に証拠金を差し入れなければならない。 |
| 13 | 差し入れる証拠金は、現金でも有価証券でもOKである。 | 13 | ○
証拠金代用有価証券という。※ 掛目あり
現金・・・100% 国債・・・額面の95% 上場株式・・・80% |
| 14 | 先物取引において、反対売買をせずに決済する方法として、売方が期日に代金をもらって現物を渡す方法が、現引（現引き）である。 | 14 | ×
（売方）代金をもらって現物を渡す・・・現渡し
（買方）代金を支払って現物をもらう・・・現引（現引き） |
| 15 | 証拠金代用有価証券の範囲に、政府保証債、地方債、公社債投資信託の受益証券が含まれる。 | 15 | ○ |

【先物取引2】

- | | | | | |
|----|--|----|---|---|
| 01 | 先物取引と現物市場との関係において、先物取引は現物価格への決定機能がある。(現物価格に影響を与える) | 01 | | ○ |
| 02 | 現物価格からみて先物市場(先物価格)が存在することで、現物取引のリスクヘッジが可能となる。 | 02 | | ○ |
| 03 | 先物取引の市場が存在することで、現物取引の市場の流動性は低くなる。 | 03 | 現物市場の流動性は高くなる。(いつでも買える・売れる)
← 現物市場の参加者が増える・商品の厚みが増すから。 | × |
| 04 | 先物価格と現物価格は、最終日に同一価格になることはない。 | 04 | 先物価格と現物価格は、最終日には同一価格になる。 | × |
| 05 | 先物取引には、①ヘッジ取引、②アービトラージ取引、③信用取引、④スペキュレーション取引の4つのパターンがある。 | 05 | ①ヘッジ取引、②アービトラージ取引、③スペキュレーション取引、④スプレッド取引の4つである。 | × |
| 06 | ヘッジ取引とは、先物市場において現物のポジションと反対のポジションをとることで損失回避しようとするものである。 | 06 | | ○ |
| 07 | アービトラージ取引とは、商品の価格差に注目し割高の商品を売って同時に割安なものを買ひ、それぞれの利ざやを狙う取引をいう。 | 07 | | ○ |
| 08 | 先物価格と現物価格の価格を利用して(一方を買い付け、もう一方を売り付ける)、利ざやを稼ぐ取引のことをベシス取引という。 | 08 | | ○ |
| 09 | 先物市場において、単純に利益獲得だけを狙いとして行う取引をスペキュレーション取引という。 | 09 | | ○ |
| 10 | スペキュレーション取引において、レバレッジ効果は期待できない。 | 10 | 少ない投資で(少額の証拠金を預けるだけで)、多額の取引が可能・・・レバレッジ効果 | × |
| 11 | アービトラージ取引が、価格差の乖離(一時的)に注目するのに対しスプレッド取引は2つの先物の価格差に注目する取引である。 | 11 | | ○ |
| 12 | (合言葉) あわび(鮑)とラーズは、最低(最低)なヤツ! | 12 | | ○ |
| 13 | スプレッド取引で、期間が異なる、での価格差に注目したものが、インター(イントラ)マーケット取引である。 | 13 | 期間の価格差・・・カレンダーズプレッド取引
市場の価格差・・・インター(イントラ)マーケット取引 | × |
| 14 | 売りヘッジとは、現物を売るヘッジ取引である。
= (買いヘッジとは、現物を買うヘッジ取引である) | 14 | 売りヘッジとは、先物を売る取引のこと。
(買いヘッジとは、先物を買う取引のこと) | × |
| 15 | 売りヘッジは、市場の値下がり予想する時の戦略(利ざやを稼ぐ)である。 | 15 | 先物95円で取引(売り)。(予想どおり)現物が90円まで下落。
95円で売って90円で買い戻す。5円の儲け。2倍なら10円。 | ○ |

【先物取引3】

- | | | | | |
|----|---|----|---|---|
| 01 | 買いヘッジは、市場の値下がりを予想する時の戦略・利ざや稼ぎである。 | 01 | 値上がり予想。先物 105 円で買い。(予想どおり) 110 円まで上昇。105 円で買って、すぐ 110 円で売れば 5 円の儲け。 | × |
| 02 | 先物取引市場の機能として、ヘッジャーに対しては投資利益の機会提供がある。 | 02 | ヘッジャーに対しては、リスク回避手段の提供がある。 | × |
| 03 | 先物取引市場の機能として、スペキュレーターとアービトラージャーに対しては、投資利益の機会提供がある。 | 03 | スペキュレーター・・・投資利益の機会提供
アービトラージャー・・・投資(裁定)利益の機会提供 | ○ |
| 04 | (合言葉) すべすべお肌とキューティクルに関心女子は、先物好きの利益好き。 | 04 | すべすべお肌とキュ (ーティクル) レーション は、 先物好きの利益好き 。 | ○ |
| 05 | 長期・中期国債先物取引において利率と償還期限を一定にした架空の債権を「標準物」という。 | 05 | | ○ |
| 06 | 受渡適格銘柄は、(選択権を持つ) 買方が選んで、売方から買方に渡すものである。 | 06 | 受渡適格銘柄は、売方が選んで買方に渡すものである。 | × |
| 07 | 受渡適格銘柄と標準物の価値が同一になるように調整するための比率をコンバージョン・ファクター(CF)という。 | 07 | | ○ |
| 08 | コンバージョン・ファクターは、受渡適格銘柄を1とした場合の決済日における価値をいう。 | 08 | コンバージョン・ファクターは、 標準物=1 とした場合の、各受渡適格銘柄の決済日における価値のことである。 | × |
| 09 | (合言葉) 1票(標準物) の価値。 | 09 | | ○ |
| 10 | 受渡決済において適格となる銘柄を複数定める方式を、ピクニック方式という。 | 10 | 受渡決済において適格となる銘柄を複数定める方式を バスケット 方式という。 | × |
| 11 | 長期(中期)国債先物取引における取引限月は、3、6、9月、及び12月の中から常時3限月が取引されている。 | 11 | | ○ |
| 12 | 国債先物取引における取引限月は、最長6ヶ月である。 | 12 | 国債先物取引における取引限月は、 最長9ヶ月 である。 | × |
| 13 | 国債先物取引の受渡し決済日は毎月20日であるが、取引最終日は、受渡決済期日の3営業日前の日である。 | 13 | 受渡決済期日の 7営業日前 の日である。 | × |
| 14 | 国債先物取引における新限月の取引開始日は、直近限月の取引最終日の翌々営業日である。 | 14 | 国債先物取引の新限月の取引開始日は、直近限月の 翌 営業日である。 | × |
| 15 | 売買最終日までに反対売買をして、売値と買値の差額でもって決済する方法を受渡決済という。 | 15 | 売買最終日までに反対売買をして売値と買値の差額でもって決済する方法を 差金決済 という。 | × |

【先物取引4】

- | | | | | |
|----|---|----|--|---|
| 01 | 長期国債先物を 101 円で 20 単位売り建てた場合、98 円で買い戻すと
(101-98) × 1 億円/100 円 × 20 単位 = 6,000 万円の儲けである。 | 01 | ※ 税金・手数料等その他の費用は考慮しないケース。 | ○ |
| 02 | 先物取引の一時中断措置を、サーキットブレーカー制度という。 | 02 | | ○ |
| 03 | 市場価格の大きな変動が投資家の判断を誤らせないための一日の値段
の変動幅を制限することを制限値幅という。 | 03 | | ○ |
| 04 | 制限値幅は、前取引日の清算値段から上下 5 円である。 | 04 | 制限値幅は、前取引日の清算値段から 上下 3 円 である。 | × |
| 05 | 中期国債先物の年利率は 3%、償還期限 5 年である。
長期国債先物の年利率は 6%、償還期限 10 年である。 | 05 | | ○ |
| 06 | 長期・中期国債先物の取引最終日は、受渡決済期日の 5 営業日前で
ある。 | 06 | 受渡決済期日の 7 営業日 前である。 | × |
| 07 | (合言葉) 先物セブン! (サキモノセブン) | 07 | | ○ |
| 08 | 長期・中期国債先物取引の呼値の単位は、額面 100 円当たりの価格で
10 銭である。 | 08 | 額面 100 円当たりの価格で最小刻み 1 銭である。 | × |
| 09 | (合言葉) サキモノセブン で、 1 億 1 千 (銭) 円 のお買い物。 | 09 | | ○ |
| 10 | 国債先物取引の注文方法において、指値注文はできるが成行注文は
できない。 | 10 | 指値注文も成行注文も両方可能である。 | × |
| 11 | 国債先物取引における差金の授受は、反対売買を行った日の 3 営業日
目の日である。 | 11 | 差金の授受は、反対売買を行った日の翌営業日である。 | × |
| 12 | 国債先物取引における受渡決済期日は、各限月 (3、6、9、12 月) の
20 日である。 | 12 | | ○ |
| 13 | (合言葉) 限月 20 日 (はつか) は、現物変身! の日。 | 13 | | ○ |
| 14 | 先物理論価格は、現物価格 + 現物価格 × (短期金利 - 配当利回り) ×
期限までの日数/365 日 (または月数/12) で求める。 | 14 | | ○ |
| 15 | ある現物 10,000 円。期限日まで 5 ヶ月。短期金利 5%、配当利回り年
3%の時の先物理論価格の式は 10,000 × (5% - 3%) × 5/12 である。 | 15 | 10,000 円 + 10,000 × (5% - 3%) × 5/12
= 10,000 円 + 83 円 = 10,083 円 | × |

【先物取引5】

- | | | | | |
|----|--|----|--|---|
| 01 | TOPIX先物取引は大阪取引所の商品である。
日経平均株価（日経 225）先物取引は東京証券取引所の商品である。 | 01 | TOPIX 先物取引・・・東京証券取引所
日経 225先物取引・・・大阪取引所等 | × |
| 02 | 国債先物取引の限月は3限月最長9ヶ月であるが、株価指数先物取引の限月は3、6、9、12月の5限月最長1年3ヶ月（15ヶ月）である。 | 02 | | ○ |
| 03 | 株価指数先物取引の取引最終日は、各限月の第2金曜日である。 | 03 | 株価指数先物取引の取引最終日は、各限月の第2金曜日の前営業日（休日の場合、繰り上がる）である。 | × |
| 04 | （合言葉） 指数先サキモノなら、ニッキン（2金）前 | 04 | | ○ |
| 05 | 株価指数先物取引の売買単位は、TOPIX 先物取引は東証株価指数の10,000倍、日経 225 先物取引は日経平均の1,000倍である。 | 05 | | ○ |
| 06 | （合言葉） 225 だけ 鶴は千年、あとは（亀は）万年 。 | 06 | | ○ |
| 07 | 株価指数先物取引の呼値の単位（刻み幅）は、TOPIX 先物取引が0.5ポイント、日経 225 先物取引が10円である。 | 07 | | ○ |
| 08 | （合言葉） 跳び箱（トピ=TOPIX）半分、 株（かぶ）10円 。 | 08 | TOPIX 先物取引・・・0.5（半分）ポイント
日経平均株価（日経 225）先物取引・・・10円 | ○ |
| 09 | 株価指数先物取引の差金の授受は、反対売買を行った日の翌営業日であるが、最終決済は取引最終日から起算して3営業日目の日である。 | 09 | | ○ |
| 10 | ミニ TOPIX 先物取引も、TOPIX 先物取引同様に、3、6、9、12月の5限月である。 | 10 | ミニ TOPIX は、3、6、9、12月の 3限月 である。 | × |
| 11 | 日経 225m i n i 先物取引は、3、6、9、12月の2限月と四半期限月以外の直近3限月の合計5限月である。 | 11 | | ○ |
| 12 | ミニ TOPIX 先物の取引単位は、TOPIX 先物の取引単位=東証株価指数の10,000倍の10分の1・・・1,000倍である。 | 12 | | ○ |
| 13 | 日経 225m i n i 先物の取引単位は、日経 225 先物の取引単位=日経平均株価の1,000倍の10分の1・・・100倍である。 | 13 | | ○ |
| 14 | ミニ TOPIX 先物の呼値の単位は、TOPIX 先物の呼値の単位=0.5ポイントの半分・・・0.25ポイントである。 | 14 | | ○ |
| 15 | 日経 225m i n i 先物の呼値の単位は、日経 225 先物の呼値の単位=10円の半分・・・5円である。 | 15 | | ○ |

【先物取引6】

- | | | | | |
|----|---|----|--|---|
| 01 | TOPIX 先物を 750 ポイントで 20 単位売り建てた。710 ポイントで全部買い戻した時の式は $(750-710) \times 20 \times 10,000 =$ である。 | 01 | $(750-710) \times 20 \times 10,000 = 8,000,000$ 円
※ ただし手数料等を考慮しない場合。 | ○ |
| 02 | (上記ケースで) 売り建てた時の手数料 63,000 円、買い建てた時の手数料 59,000 円の場合は $8,000,000 - (63,000 + 59,000)$ となる。 | 02 | | ○ |
| 03 | (さらに上記ケースで) 消費税を考慮すると、 $(63,000 + 59,000) \times 1.05 = 128,100$ 円なので、 $8,000,000 - 128,100$ 円となる。 | 03 | | ○ |
| 04 | TOPIX 先物 750 ポイントで 20 単位買い建て⇒SQ760 で決済した時の式は (手数料等除く)、 $(760-750) \times 1,000 \times 20$ 単位である。 | 04 | TOPIX は 10,000 倍。
$(760-750) \times 10,000 \times 20$ 単位 = 2,000,000 円 | × |
| 05 | 日経 225 先物 8,500 円で 100 単位買い建て⇒SQ8,700 円で決済した時の式は (手数料等除く)、 $(8,700-8,500) \times 1,000 \times 10$ 単位である | 05 | $(8,700-8,500) \times 1,000 \times 10$ 単位 = 2,000,000 円 | ○ |
| 06 | 先物取引の中で限月が一番近いものを期近物 (きぢかもの) といい、期近物以外の限月の取引を期先物 (きさきもの) という。 | 06 | | ○ |
| 07 | カレンダー・スプレッドの買いとは、期先物を買って+期近物を売る取引のことである。 | 07 | | ○ |
| 08 | カレンダー・スプレッドの売りとは、期先物を買って+期近物を売る取引のことである。 | 08 | (上記と逆に) 期先物を売って期近物を買うものをカレンダー・スプレッドの売りという。 | × |
| 09 | (合言葉) スプレッドの買いは、后 (きさき) 買い (=期先買い) + (反対の) 期近売り。 | 09 | | ○ |
| 10 | スプレッドが拡大すると予想されたので、スプレッドの売りを行った (期先物の売り+期近物の買い) ○か×か? | 10 | スプレッド拡大は、スプレッドの買いである。
スプレッドの買い=期先物の買い+期近物の売り | × |
| 11 | スプレッドが拡大すると予想されたので、スプレッドの買いを行った (期先物の買い+期近物の売り) ○か×か? | 11 | | ○ |
| 12 | TOPIX 先物の期近物が 950 の時、スプレッドの売りを 1 単位実行。⇒期近物が 970 になると $(950-970) \times 10,000 \times 1$ 単位である。 | 12 | スプレッドの売り=期先物の売り+期近物 (950) の買い
$(970-950) \times 10,000 \times 1$ 単位 = 20 万円 (※手数料等なし) | × |
| 13 | TOPIX 先物の期先物が 960 の時、スプレッドの売りを 1 単位実行。⇒期先物が 990 になると $(990-960) \times 10,000 \times 1$ 単位である。 | 13 | スプレッドの売り=期先物 (960) の売り+期近物の買い
$(960-990) \times 10,000 \times 1$ 単位 = ▲30 万円 (※手数料等なし) | ○ |
| 14 | 日経平均先物の期近物が 9500 の時、スプレッドの買いを 1 単位実行。⇒期近物が 9700 になると $(9500-9700) \times 1,000 \times 1$ 単位である。 | 14 | スプレッドの買い=期先物の買い+期近物 (9,500) の売り
$(9,500-9,700) \times 1,000 \times 1$ 単位 = ▲20 万円 (※手数料等なし) | ○ |
| 15 | 日経平均先物の期先物が 9600 の時、スプレッドの買いを 1 単位実行。⇒期先物が 9900 になると $(9900-9600) \times 1,000 \times 1$ 単位である。 | 15 | スプレッドの買い=期先物 (9,600) の買い+期近物の売り
$(9,900-9,600) \times 1,000 \times 1$ 単位 = 30 万円 (※手数料等なし) | ○ |

【先物取引7】

- | | | | | |
|----|--|----|--|---|
| 01 | 限月間スプレッド取引とは、ある限月の売りと別の限月の買いを同時に行うものである。 | 01 | | ○ |
| 02 | スプレッド買呼値とは、期先限月取引の買い+直近限月取引の売りの組み合わせによる呼値のことである。 | 02 | | ○ |
| 03 | スプレッド売呼値とは、期先限月取引の買い+直近限月取引の売りの組み合わせによる呼値のことである。 | 03 | スプレッド売呼値は、期先限月取引の売り+直近限月取引の買いとの組み合わせによる呼値のことである。 | × |
| 04 | 証拠金制度において、証拠金は取引を行った日の翌々営業日までに差し入れる必要がある。 | 04 | 証拠金は、取引を行った日の翌営業日までに差し入れる必要がある。 | × |
| 05 | 証拠金は、現金または有価証券のどちらか一方だけを差し入れなければならない。 | 05 | どちらか一方でも、両方の組み合わせでも可能である。 | × |
| 06 | 先物取引した商品を時価で毎日毎日評価替えすることを値洗い制度という。 | 06 | | ○ |
| 07 | 値洗い制度において評価損が発生した場合には、評価損が発生した翌営業日までにその損益の受払いを行う必要がある。 | 07 | | ○ |
| 08 | 最低必要な証拠金の額を、証拠金所要額という。 | 08 | | ○ |
| 09 | 国債先物 100 円で額面 20 億円を買い建て。清算値段が 99.5 円に下落すると $(99.5 - 100) \times 20$ 億円/100 円の追加差入証拠金が必要。 | 09 | $(99.5 - 100) \times 20$ 億円/100 = ▲1,000 万円
1,000 万円の追加保証金が必要となる。現金が必要。 | ○ |
| 10 | (上記設問で) 証拠金が全部、代用有価証券(ただし目減りなし)の時に、現金で必要な追加の差入証拠金はやはり 1,000 万円である。 | 10 | | ○ |
| 11 | (上記設問で) 証拠金所要額がずっと 3,000 万円の時、代用有価証券に 300 万円の目減りが発生すると価値は $(3,000 - 300)$ 万円となる。 | 11 | 値洗い後の差入証拠金の額 = 現金 + 代用有価証券
= 0 円 + 3,000 万円 - 300 万円 = 2,700 万円 | ○ |
| 12 | (上記設問で) 最終的に不足する証拠金の額は $2,700 -$ 評価損 $1,000 =$ 1,700 万円を 3,000 万円から引いた 1,300 万円が不足することになる。 | 12 | 受入証拠金の額 = 差入証拠金 - 評価損の部分
= 2,700 万円 - 1,000 万円 = 1,700 万円 | ○ |
| 13 | 最終的な証拠金不足額は、1,300 万円。そのうち現金で必要な額は 1,000 万円となる。 | 13 | 絶対に必要な証拠金所要額 $3,000$ 万円 - $1,700$ 万円 = $1,300$ 万円
うち現金で必要な額が 1,000 万円となる。 | ○ |
| 14 | SPAN 証拠金 1 億 4 千万円。ネット・オプションの価値の総額が ▲1 億円の時の証拠金所要額は、1 億 4 千万円 - (▲1 億円) である。 | 14 | 証拠金所要額 = SPAN 証拠金 - ネット・オプションの価値の総額 = 1 億 4 千万円 - (▲1 億円) = 2 億 4 千万円 | ○ |
| 15 | ネット・オプションの価値の総額は、売りオプション価値の総額 - 買いオプションの価値の総額である。 | 15 | ネット・オプションの価値の総額 = 買いオプション価値の総額 - 売りオプション価値の総額 | × |

【先物取引 8】

- | | | | | |
|----|--|----|--|---|
| 01 | 証拠金代用有価証券の範囲に、国内の金融商品取引所に上場されている外国投資証券は含まれない。 | 01 | 国内の金融商品取引所に上場されている外国投資証券は、証拠金代用有価証券として差し入れることができる。 | × |
| 02 | 証拠金代用有価証券の範囲に、政府保証債は含まれない。 | 02 | 政府保証債は、証拠金代用有価証券の範囲に含まれる。 | × |
| 03 | 国債先物の取引最終日は、受渡決済期日の7営業日前の日である。 | 03 | | ○ |
| 04 | 株価指数先物取引の取引最終日は、各限月の第2金曜日の前営業日である。 | 04 | | ○ |
| 05 | TOPIX先物取引の取引最終日は、各限月の第2金曜日の翌営業日である。 | 05 | TOPIX先物取引の取引最終日は、各限月の第2金曜日の前営業日である。 | × |
| 06 | 国債先物の差金の授受は、反対売買を行った日の翌営業日である。 | 06 | | ○ |
| 07 | TOPIX先物、日経平均株価(225)先物、日経株価指数(300)先物の差金の授受は、反対売買を行った日の翌営業日である。 | 07 | | ○ |
| 08 | TOPIX先物、日経平均株価(225)先物、日経株価指数(300)先物の最終決済は、取引最終日から起算して3営業日目の日である。 | 08 | | ○ |
| 09 | ミニTOPIX先物取引の呼値の単位は、0.5ポイントである。 | 09 | ミニTOPIX先物取引の呼値の単位は、0.25ポイントである。 | × |
| 10 | 日経225mini先物取引の呼値の単位は、5円である。 | 10 | | ○ |
| 11 | 日経平均株価(225)先物、日経株価指数300先物ともに、限月は3、6、9、12月の5限月、最長1年3ヶ月=15ヶ月である。 | 11 | | ○ |
| 12 | ミニTOPIX先物取引の限月は、3、6、9、12月の3限月である。 | 12 | | ○ |
| 13 | TOPIX先物取引の取引単位は、東証株価指数の1,000倍である。 | 13 | TOPIX先物取引の取引単位は、東証株価指数の10,000倍である。 | × |
| 14 | 日経平均株価(225)先物取引の取引単位は、日経平均株価の1,000倍である。 | 14 | | ○ |
| 15 | 日経株価指数300先物取引の取引単位は、日経株価指数300の1,000倍である。 | 15 | 日経株価指数300先物取引の取引単位は、日経株価指数300の10,000倍である。 | × |

証券外務員一種・二種試験の合格応援サイト サクセスキューブ

<http://www.success3.jp>

証券外務員は一種試験も一般に開放されました。
(二種合格者でなくても一種試験を受験することが
可能となりました。)

※ サクセスキューブは、二種合格者でなくても一種試験に合格することができるようにオリジナルサブノートを用意いたしました。

また、サブノートに完全連動した問題集も付属しています。

※ サクセスキューブは、証券外務員一種試験・二種試験の合格を応援するサイトです。

合言葉 de 合格した「合格体験記＝合格ガイド」やオリジナルサブノートのサンプルを無料で公開しています。

(いつでも・どなたでも無料でダウンロードできます)

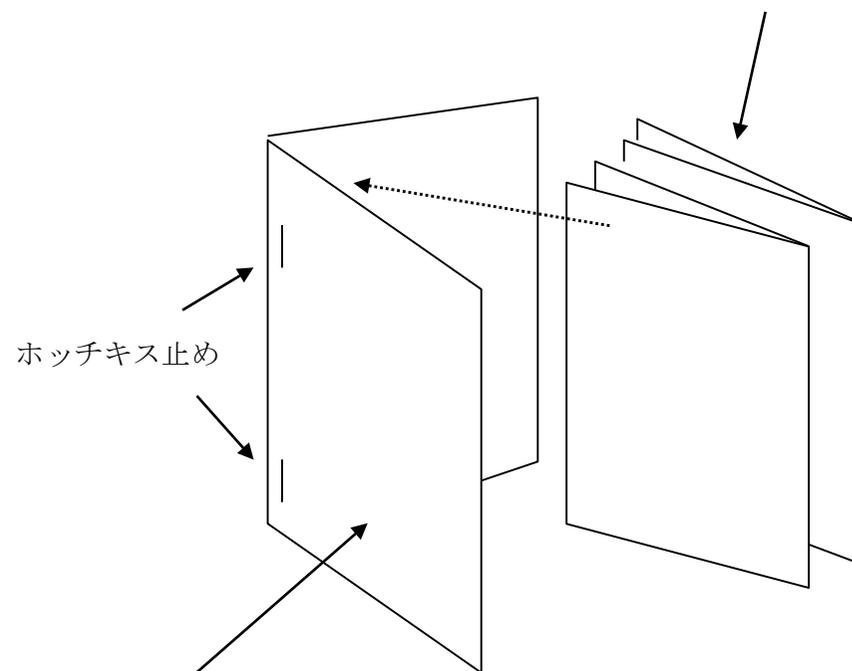
無料ダウンロードできる手づくりのサブノートと
サブノート連動の手づくり問題集はサイトにて
お確かめください。

無料ダウンロードはこちらから ⇒ <http://www.success3.jp>

オリジナルサブノート連動・問題集の使い方

※ このページは説明用ページ（綴り込み不要）です。

前ページまでの問題集ページを山折りにして綴り込む。



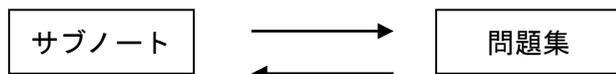
トップページ（1ページ・表紙ページ）を谷折りにして閉じ込む。

※ プリンターで何部でも印刷可能です。
自宅に、通勤用カバンに、職場などに用意してボロボロになる
くらいまで活用してください。

※ 正解できるものは、どんどん消し込み（左側の番号に×印）して
弱点を克服してください。

オリジナルサブノート連動・問題集の活用方法

この問題集は、手づくりオリジナルサブノート・合言葉 d e 合格！法と完全連動の問題集です。



ぜひ、両者間を行ったり来たりしてください。
問題集からの刺激が、サブノートを読んだ時のアハ体験！にもつながります。

ポイント1

目で読む（黙読する）、心の中で独り言をつぶやくように（無声音で）繰り返し・繰り返し（反復×反復）で理解→記憶へと刻みつけてください。

例えば、本問題集の1-01だと以下のようになります。

「先物取引を開始する時、協会員（証券会社等）は、お客様に対して
あらかじめ説明書を交付しなければならない。（○か×か？と心の中で自問）
「○！」

「さきものとりひきをかいしするとき、きょうかいいんは、おきやくさまにたいしてあらかじめせつめいしょをこうふしなければならない。」

「まる！」というような感じです。

さらに「○」が正解の場合でも、右側に重要な点・解説がありますので、それまで読んで（無声音でつぶやいて）ください。

もちろん×の場合だと、「×（ばつ）！」のあとに正解や解説等を続けて、読んでください。

※ ここでは一瞬（瞬間的に）自分で解答を考えてから（短時間で反応してから）、右の解答を確認しても良いのですが、いちばん最初は、問題文を

読んだらすぐ右の解答を見て、正解を確認、心の中で○とか×とかを問題文に続けて読んでみることもお薦めします。（あくまでも第一回目です。）

※ このやり方で早めに第一回目の問題集踏破が可能になります。
（ぜひ試してみてください。）

もちろん、一瞬考えてから正確を確認する、というやり方でも構いません。
要は、繰り返し・繰り返しで、理解から→記憶済みの問題数をだんだんと増やして行ってください。

持ち歩いたり、あるいは何冊か作成して、自宅に職場に、通勤カバンにとスキマ時間を活用するために工夫してください。

ポイント2

この問題集をICレコーダーに録音して、それこそ通勤時などに耳から聴く・記憶に刻みつけるという方法もあります。
そのために、長い問題文ではなく二行以内で問題文が終わる形にしてあります。

ですので、ぜひICレコーダーをお持ちの方はご自分の声で録音して、スキマ時間を活用されることをお薦めいたします。

※ 今は安価なものでも倍速とまではいかななくても再生スピードを10%、20%アップできる機種もあります。

（将来的には、mp3ファイル等に音源化してダウンロードできるようにして、お手持ちの音楽プレーヤーやスマートフォンなどで学習できるようにする予定です。）⇒ 順次、YouTube 講座として活用できるようにしてあります。

（サイトにてご確認ください）

※ オリジナルサブノートと手づくり連動問題集の学習方法等につきましてはサイトでも体験的に紹介させていただいております。

⇒ <http://www.success3.jp/>

外務員資格試験取得を応援するオリジナルサブノートと問題集について

このオリジナルサブノートと問題集は、最近たくさんの方が馴染みのあるブログ記事・コメント風に（また、ビジネススクールの講義会話風に）作成したものです。（従来の参考書等とは異なるスタイルです。）

まずは外務員資格試験に合格していただくことを最大の使命として誕生しました。

当社のオリジナルサブノートと問題集は、外務員一種試験を受験し最初不合格そして二回目の受験で合格となった個人体験から出題傾向や試験問題パターンを分析した上で、傾向と対策としてオリジナルサブノートと問題集をとりまとめたものです。

よって、出題頻度が低いと予想できるといった内容の記述であっても、それでもって、完全に出題されないと断定するものではありません。

もちろん低い頻度や理解記憶不要であると予想した問題が出題された場合の全責任は当社にあります。

金融商品取引法には

「・・・有価証券の発行及び金融商品等の取引を公正にし、有価証券の流通を円滑にするほか、資本市場の機能の十全な発揮による金融商品取引等の公正な価格形成等を図り、もって国民経済の健全な発展及び投資者の保護に資することを目的とする。」とあります。

当然に金融商品取引業者等とその金融商品取引業者等に勤務する外務員は、金融商品取引法の目的のために重要な役割を果たす必要があり、投資家保護という観点のみならず、資本市場に対して相当な責任を負っていることとなります。

外務員資格取得を目指して試験にチャレンジする皆さんは、決して外務員試験合格がゴールではありません。

合格後も、いろんな制度の情報収集や新たに開発される商品についての知識向上、あるいは経済情勢の判断など、不断の努力がより一層求められることは間違いありません。

当社のオリジナルサブノートと問題集は、二種外務員試験・一種外務員試験の受験生に対して、可能な限り短期間で合格を目指すためにポイントを絞り込んで、『合言葉』というキーワードとイメージを活用しながら、取り組んでいただくことを最大の狙いといたしております。

（なぜなら、受験生によっては仕事や人生の経験から馴染みのない難解な言葉・概念や、そこから用意される問題等の理解・記憶において皮膚感覚で困難を感じている方もいらっしゃるからです。）

つきましては、「外務員試験合格でよし」とすることなく、とりわけ実際の試験の時に間違っていると認識できる範囲の問題や自分なりに不十分だと認識できる分野・概念等々を合格後も追加の学習や不断の努力にてより高い水準へと知識・スキルを高めていかれることをお勧めいたします。

当社といたしましては、一人でもたくさんの方が外務員資格試験に合格されることで、仕事遂行面での貢献やさらなる人生の展開、あるいは就職活動や派遣登録等におかれましてより選択肢が増えることにつながればこれ以上の喜びはございません。

※ なお、オリジナルの手づくりサブノートと問題集は（実際の試験・出題傾向等に際しまして）日本証券業協会さまとは一切関係がございません。

※ あくまでも当社が独自の観点から出題傾向とポイントを分析した上で、記載内容を吟味して作成したものです。

資格試験の学習及び試験本番に臨まれる時にはその旨十分にご了承ください。

いずれにしましてもこのオリジナルサブノートと問題集の記載内容につきましても全責任は当社にあります。

万が一、記載内容そのものの誤謬や記載につきましても不備等が存在した場合の全責任も当社に帰属するものです。